

2019年3月25日

受益者の皆さまへ

アセットマネジメントOne株式会社

当社ファンドの基準価額下落について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社が設定するファンドのうち以下ファンドの基準価額が本日大きく下落いたしましたので、お知らせいたします。

【基準価額5%超下落ファンド】

ファンド名	基準価額(円)	前日比(円)	騰落率
新光トルコ・リラ債券ファンド(毎月決算型) 愛称: トルコの風	2,496 ^{※1}	▲194	▲7.21%
新光グローバル・ハイイールド債券ファンド トルコリラコース	3,743 ^{※2}	▲282	▲7.01%
ハイブリッド証券ファンド トルコリラコース	4,595	▲257	▲5.30%

※1 新光トルコ・リラ債券ファンド(毎月決算型)愛称: トルコの風は、本日、決算日に該当し税引前分配金(1万円当たり)を35円払出しています。このため、分配金支払を除いた実質的な騰落率は▲5.91%となります。

※2 新光グローバル・ハイイールド債券ファンド トルコリラコースは、本日、決算日に該当し税引前分配金(1万円当たり)を80円払出しています。このため、分配金支払を除いた実質的な騰落率は▲5.02%となります。

次ページ以降に基準価額の変動要因となった主な市況の動向および今後の見通しについて記載しておりますのでご参照ください。

なお、上記ファンドにつきましては、今後の状況を注視しつつ運用を行ってまいりますので、引き続き当社投資信託をご愛顧頂きますようお願い申し上げます。

当資料は3枚ものです。P.3の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」をご確認ください。



商号等: アセットマネジメントOne株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

1. 市況の動向

22日の外国為替市場ではトルコリラが大幅に下落しました。足もとのトルコリラ下落の要因については、3月末にトルコ国内で地方選挙が予定されていることや、ゴラン高原を巡る主権をイスラエルに認めたアメリカに対し反発の意を示すなど政治的な緊張感が高まっていること等が挙げられます。また、トルコの主要輸出先であるドイツを始めとした欧米のPMI（製造業購買担当者景気指数）が予想を下回る水準であったことや、米国長期金利が短期金利の水準を下回る逆イールドが一部の年限で発生したことなどから世界経済の後退が意識されたことも、リスク回避姿勢を強める要因となりました。

【市場データの騰落率等】

	前日比	騰落率	取引終了値
トルコリラ/円	▲1.1327円	▲5.6%	19.1048円
トルコ3年国債利回り	0.48%	-	17.85%
ハイブリッド証券	0.5816	0.21%	271.28
グローバル・ハイイールド債券	▲0.478	▲0.12%	393.75

※3月22日時点、前日比は3月21日対比。

※ハイブリッド証券は、ブルームバーグ・パークレイズ・グローバル・キャピタル・セキュリティーズ・インデックス（Lower Tier 2）（米ドル/為替ヘッジベース）

※グローバル・ハイイールド債券は、ICE BofAML・グローバル・ハイイールド・コンストレインド・インデックス（現地通貨ベース）

※ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

2. 今後の見通し

トルコ中央銀行はトルコリラの急落に対して金融引締めを実施していることなどから、短期的には値を戻す可能性が考えられます。しかしながら、国内景気の弱含みが懸念されていることに加え、海外市場でも下落圧力が加わりやすい地合いとなっているなか、トルコリラは神経質な一進一退の展開が予想されます。

- ※ 前記の市場の動向は、過去の実績であり将来の運用成果等を保証するものではありません。また、今後の見通しは、作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。
- ※ ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。パークレイズは、ライセンスに基づき使用されているパークレイズ・バンク・ピーエルシーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します。）またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・パークレイズ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。
- ※ ICE Data Indices, LLC（「ICE Data」）、その関係会社及びそれらの第三者サプライヤーは、明示又は黙示のいずれかを問わず、インデックス、インデックス・データ、及びそれらに含まれ、関連し、又は派生する一切のデータを含めて、商品性又は特定の目的若しくは使用への適合性の保証を含む一切の表明及び保証を否認します。ICE Data、その関係会社又はそれらの第三者サプライヤーは、インデックス、インデックス・データ若しくはそれらの構成要素の適切性、正確性、適時性又は完全性について、なんら損害賠償又は責任を負わず、インデックス、インデックス・データ及びそれらの全ての構成要素は、現状有姿において提供されるものであり、自らの責任において使用いただくものです。ICE Data、その関係会社及びそれらの第三者サプライヤーは、アセットマネジメントOne（株）又はその製品若しくはサービスを後援、推薦又は推奨するものではありません。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

●投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券(リート)などの値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります。)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

●投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料: 上限3.78% (税込)

換金時手数料: 換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額: 上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬): 上限 年率2.6824% (税込)

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料: 上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書(交付目論見書)等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用(上限額等を含む)を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメント One 株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

●当資料は、アセットマネジメント One 株式会社が作成したものです。

●当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

●当資料は、アセットマネジメント One 株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

●当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

●投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。
2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。